■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JC001	キャリアデザイン	講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
一般	必修	1・2年	通年	45分	60	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
各学年クラス担任	専任	

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

学校生活上必要な書類作成や学校行事（学園祭やイベント大会等）におけるクラス内の話合いを行う「クラス運営」の時間にするとともに，科目「接遇マナー」の指導と連携しながら職業指導を中心に行い，スムーズな就職活動に繋げることを目的とする。
学生，担任，キャリアセンターとの連携・コミュニケーションを図る。

■ 成績評価基準

科目の特性上，成績評価は実施せず，全授業時間数の3分の2以上の出席をもって単位認定を行う。

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
ウィネット	これだけは知っておきたい！面接対策＆ビジネスマナー	ウィネット
実務技能検定協会	サービス接遇検定受験ガイド	早稲田教育出版

■ 特記事項

GPA算出除外科目

■ 授業計画

回	授　業　内　容 ＜1年次＞	回	授　業　内　容 ＜2年次＞
1 ～ 3	（学校生活およびクラス運営上の取り決め） ・棚と座席の決定 ・校則の説明 ・学校内の案内とルールの説明	31・32	（学校生活およびクラス運営上の取り決め） ・棚と座席の決定 ・各種当番の決定 ・各種必要書類の作成
4 ～ 6	（学校生活およびクラス運営上の取り決め） ・各種当番の決定 ・各種必要書類の作成 ・授業内容の概略及び諸ルールの説明 ・選択コース決定のための補足説明	33～40	（就職指導） ・履歴書原本の作成 ・身だしなみ，面接の指導 ・個人面談
7 ～ 10	（就職指導） ・就職の目的理解 ・就職活動概略スケジュール理解 ・自己分析	41～43	（就職指導） ・自己PRシートの原本作成 ・エントリーシート，お礼状の書き方理解
11 ～ 13	（サービス接遇指導） ・サービススタッフの資質 ・サービス知識	44～47	（学園祭企画・運営） ・クラス内実行委員の決定 ・クラス出展内容の決定 ・クラス内役割分担の決定と分科会開始
14 ～ 17	（サービス接遇指導） ・サービス社会常識 ・対人技能知識 ・サービス実務知識	48～52	（就職指導） ・（内定者）内定企業の研究と準備 ・（未内定者）スケジュール，目標の再検討 ・（未内定者）個人面談
18 ～ 22	（学園祭企画・運営） ・クラス内実行委員の決定 ・クラス出展内容の決定 ・クラス内役割分担の決定と分科会開始	53～55	（学園祭企画・運営） ・事前準備
23 ～ 25	（学園祭企画・運営） ・事前準備	56～60	（就職指導） ・企業の構造理解 ・社会人としての考え方理解 ・社会人としてのマナー理解
26 ～ 30	（就職指導） ・業種・職種の研究 ・企業検索・研究 ・具体的な企業へのアプローチ手順の理解		
備考	興味を持った企業や就職を目指す企業等については，インターネットや新聞・業界誌等を利用して積極的に情報収集を行うこと。		

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JC002	接遇マナー	講義，演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
一般	必修	1・2年	通年	45分	120	4

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
阿部　順子	兼任	企業，専門学校にてビジネスマナー，秘書実務，リティールマーケティング等を指導する。

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

社会人としての心構え，正しい言葉遣いや電話対応などの基本的な知識や動作を学ぶ。教材をもとに基本を学習した後，応用へと発展させる。ロールプレイングを取り入れることで「解る」から「出来る」を目指し，就職活動に自信を持って取り組めるように学習する。更に秘書検定，リティールマーケティング検定対策も行う。

■ 成績評価基準

定期考査（50%），実技試験（50%）

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
早稲田教育出版編集部	ビジネスマナー基礎演習	早稲田教育出版
ウィネット	これだけは知っておきたい！面接対策＆ビジネスマナー	ウィネット
実務技能検定協会	秘書検定集中講義	早稲田教育出版
実教出版	2021レクチャー＆トレーニング 日商リテールマーケティング〔販売士〕検定試験3級	実教出版
日本商工会議所・全国商工会連合会編	販売士ハンドブック	カリアック

■ 授業計画

回	授　業　内　容 ＜1年次＞	回	授　業　内　容 ＜2年次＞
1・2	1年次オリエンテーション	61～66	リテールマーケティング対策
3・4	人と接する際の基本マナー （挨拶・笑顔・態度・身だしなみ）	67～69	面接対策（ロールプレイング）
5・6	言葉遣い（敬語）	70～75	秘書検定対策（2級・準1級）
7～10	言葉遣い（敬語　ロールプレイング）	76・77	仕事の進め方（報告・連絡・相談）
11・12	電話応対	78・79	仕事の進め方（報告・連絡・相談　ロールプレイング）
13～16	電話応対（ロールプレイング）	80・81	電話応対（ロールプレイング）
17・18	受付対応　1年前期期末考査	82・83	来客応対（ロールプレイング）
19～24	受付対応（ロールプレイング）	84・85	訪問時のマナー（ロールプレイング）
25～38	秘書検定対策（2．3級）	86～92	接遇マインド
39～42	文書作成（社内・社外・社交文書）	93～98	顧客心理分析
43・44	慶弔	99・100	接遇（お出迎え・会計・お見送り）
45～60	リテールマーケティング対策　1年後期期末考査	101～104	コミュニケーション
		105～108	クレーム対応
		109～116	クレーム対応（ロールプレイング）
		117～120	ラッピング実技
備考	毎時間，プリントを配布する。ファイリングして保管すること。		

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JC003	一般教養	講義，演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
一般	必修	1年　通年 2年　前期	45分	45	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
是枝　智美	専任	

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

毎回漢字検定に即した内容から漢字の小テストを行い，併せて就職試験「SPI」で頻出される問題や，一般教養問題など様々な分野の問題に取り組み，就職試験に備える。様々な問題の解法を理解するとともに，計算力や漢字能力の向上を目的とする。

■ 成績評価基準

期末考査　90%　授業態度・小テスト等　10%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
文英堂編集部（編）	書いてマスター　常用漢字	文英堂
SPIノートの会	これが本当のSPI3だ！	講談社

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容 ＜1年次＞	回	授　業　内　容 ＜1年次＞
1	漢字・計算力確認問題	16	漢検4級レベル読み書きテスト①，料金の割引問題①
2	分数計算①	17	漢検4級レベル読み書きテスト②，料金の割引問題②
3	分数計算②	18	漢検4級レベル読み書きテスト③，損益算①
4	漢検5級レベル読み書きテスト①，推論（順番①）	19	漢検4級レベル読み書きテスト④，損益算②
5	漢検5級レベル読み書きテスト②，推論（順番②）	20	漢検4級レベル読み書きテスト⑤，損益算③
6	漢検5級レベル読み書きテスト③，推論（内訳）	21	漢検4級レベル読み書きテスト⑥，損益算④
7	漢検5級レベル読み書きテスト④，推論（発言の正誤判断）	22	漢検4級レベル読み書きテスト⑦，損益算⑤
8	漢検5級レベル同音・同訓漢字テスト， 推論（平均から個々の値を求める）	23	漢検4級レベル実力テスト①，分割払い・仕事算①
9	漢検5級レベル四字熟語テスト①，推論（人口密度）	24	漢検4級レベル実力テスト②，分割払い・仕事算②
10	漢検5級レベル四字熟語テスト②，推論（その他①）	25	漢検4級レベル演習①，速度算①
11	推論（その他②）	26	漢検4級レベル演習②，速度算②
12	推論（その他③）	27	漢検4級レベル演習③，速度算③
13	推論（復習①）	28	1年後期期末考査
14	推論（復習②）	29	一般教養問題①
15	1年前期期末考査	30	一般教養問題②

■ 授業計画

回	授 業 内 容 〈2年次〉	回	授 業 内 容 〈2年次〉
31	漢検3級レベル読み書きテスト①，図表の読み取り①	39	漢検3級レベル実力テスト②，確率②
32	漢検3級レベル読み書きテスト②，図表の読み取り②	40	漢検3級レベル演習①，割合・比
33	漢検3級レベル読み書きテスト③，図表の読み取り③	41	漢検3級レベル演習②，代金の精算
34	漢検3級レベル読み書きテスト④，集合①	42	SPI 言語問題①
35	漢検3級レベル読み書きテスト⑤，集合②	43	SPI 言語問題②
36	漢検3級レベル読み書きテスト⑥，順列・組み合わせ①	44	SPI 言語問題③
37	漢検3級レベル読み書きテスト⑦，順列・組み合わせ②	45	2年前期期末考査
38	漢検3級レベル実力テスト①，確率①		
備考	1年次30時間，2年次15時間授業を行う。必要に応じてプリントを配付する。 小テストの範囲については事前に告知するので，しっかり勉強しておくこと。 また，授業の内容をしっかり復習して，解法を確実に定着させること。		

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS001	メイクⅠ	実習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	通年	45分	90	3

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
小宮山　美代子	兼任	化粧品メーカーにてコスメチックアドバイザーとして従事した後， 化粧品メーカー直営サロンを開業。 JMA認定講師

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

自分の顔を理解して魅力的なセルフメイクの知識と技術を習得し，セルフメイク検定合格を目指す。また，基本的なメイクアップサービスを習得する。

■ 成績評価基準

期末考査80%　授業態度・確認テスト・検定評価20%
（コンテスト作品の評価も含む）

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
一般社団法人JMA （日本メイクアップ技術検定協会）	セルフメイク検定　公式テキスト （セルフメイク検定・日本メイクアップ知識検定ベーシック対応）	一般社団法人JMA （日本メイクアップ技術検定協会）

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2・3	顔パーツ、フェイス分析①	46・47・48	ヘアメイク＆フォトコンテスト 校内選考作品作り （作品評価）
4・5・6		49・50・51	
7・8・9	顔パーツ、フェイス分析②	52・53・54	
10・11・12		55・56・57	
13・14・15	顔パーツ、フェイス分析③	58・59・60	顔バランスを意識した修正メイク
16・17・18		61・62・63	
19・20・21	スキンケアの基礎知識	64・65・66	セルフメイク検定対策
22・23・24		67・68・69	
25・26・27		70・71・72	セルフメイク検定，期末考査
28・29・30	基本のメイクアップ （ベースメイク，ポイントメイク）	73・74・75	基本的なメイクアップサービス①
31・32・33		76・77・78	
34・35・36		79・80・81	基本的なメイクアップサービス②
37・38・39	メイクイメージ①	82・83・84	
40・41・42	メイクイメージ②	85・86・87	なりたいイメージ①
43・44・45	メイクイメージ③	88・89・90	就活メイク
備考			

学校法人原田学園　鹿児島キャリデザイン専門学校
授業シラバス

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS002	ヘアアレンジ	実習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	通年	45分	60	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
白石　美和	兼任	管理美容師，和装着付け師範

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

ウイッグを使って，基本の一束結びから夜会巻きなど，幅広く学んでいく。また，「ヘア＆メイク・フォトコンテスト2021」に向けて，オリジナル作品を完成させることを目的とする。

■ 成績評価基準

期末考査80%　コンテスト作品評価20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
日本理容美容教育センター	美容実習Ⅰ・美容理論	日本理容美容教育センター

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2	毛髪理論と作業姿勢・衛生管理	31・32	編み込み（三つ編み・四つ編み・裏編み・編み込み・フィッシュボーン・縄編み）練習②
3・4	用具（コーム・ブラシ・カールアイロン・ストレートアイロン・アメピン他教材の確認）使い方。掃除の仕方。	33～36	ブロッキング～ホットカーラーまたは，アイロンを使ってハーフアップアレンジを作る
5・6	ウイッグ（コーム・ブラシ）を使う	37～40	アップスタイルデモ ～ツイスト・ロープ・片三つ編み・シニヨンなど
7・8	アイロンカール基本技術 （根元巻き・スパイラル・毛先巻き・ウエーブ・カーリー他）	41～44	「2020」フォトコンテスト全国大会：グループごと作品作り
9・10	ストレートアイロン基本技術 （ソフトカール・ストレート・交差ウエーブ他）	45・46	「2020年度フォトコンテスト」作品仕上げ/撮影
11～14	アメリカピン・Uピンの使い方 ～アイロンなどを使ってヘアスタイルを完成する	47～50	夜会巻きの手順 ベース作り・逆毛・すき毛を作り，合わせ夜会を作る
15・16	校内コンテスト作品展示及び評価	51・52	夜会巻きデモンストレーション（アレンジ作品）
17～24	上級生と合同授業：全国大会出品のモデル作成	53～56	夜会巻き（ウイッグ練習）
25・26	編み込み（三つ編み・四つ編み・裏編み・編み込み・フィッシュボーン・縄編み）練習①	57・58	ホットカール（10分）～夜会巻き（15分）（期末考査）
27・28	ブライダルメイクに合わせたヘアアレンジ：基礎編	59・60	作品評価及び振り返り
29・30	ブライダルメイクに合わせたヘアアレンジ：応用編		
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS003	ネイル	実習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1・2年	通年	45分	180	6

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
瀬戸口　チカ	兼任	平成9年～ネイルサロン・ネイルスクールを開業し，施術・指導に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

自分自身の身だしなみとしてのネイルケアや，お客様へアドバイスできる知識として，ネイルケアに関する知識と技術を，講義を交えながらの実習形式で学習する。また，近年ネイルサロンにて主流を占めるジェルネイルについて，基本的な知識と技術を習得し，最終的にはネイリスト技能検定3級，ジェルネイル検定初級合格を目標とする。

■ 成績評価基準

定期考査（50%）　作品制作（50%）

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
NPO法人日本ネイリスト協会　教育委員会	JNA　テクニカルシステム～ベーシック～	NPO法人日本ネイリスト協会
NPO法人日本ネイリスト協会　教育委員会	JNA　テクニカルシステム～ジェルネイル～	NPO法人日本ネイリスト協会

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容 〈1年次〉	回	授　業　内　容 〈2年次〉
1～3	基礎理論　爪の構造と働き	91～93	ネイルケア　相モデル①
4～6	基礎理論　爪の病気とトラブル	94～96	ネイルケア　相モデル②
7～9	基礎理論　消毒法	97～99	ネイルケア　相モデル③
10～12	テーブルセッティング	100～102	ジェルネイル　スカルプチュア①
13～15	ファイリング	103～105	ジェルネイル　スカルプチュア②
16～18	キューティクルクリーン	106～108	ジェルネイル　スカルプチュア③
19～21	カラーリング	109～111	ジェルネイル　スカルプチュア④
22～24	ネイルアート	112～114	ジェルネイル　スカルプチュア⑤
25～27	ネイルケア相モデル練習①	115～117	ジェルネイル　相モデル練習①
28～30	ネイルケア相モデル練習②	118～120	ジェルネイル　相モデル練習②
31～33	ネイリスト技能検定試験対策①	121～123	ジェルネイル　相モデル練習③
34～36	ネイリスト技能検定試験対策②	124～126	ジェルネイル　相モデル練習④
37～39	ネイリスト技能検定試験対策③	127～129	ジェルネイル　相モデル練習⑤
40～42	ネイルケア相モデル練習①	130～132	ジェルネイル　相モデル練習⑥
43～45	ネイルケア相モデル練習②	133～135	ジェルネイル　相モデル練習⑦
46～48	前期期末考査	136～138	前期期末考査
49～51	ジェルネイル基礎理論①	139～141	ネイルケア①
52～54	ジェルネイル基礎理論②	142～144	ネイルケア②
55～57	ジェルネイル基礎理論③	145～147	ネイルケア③
58～60	ジェルネイル　ワンカラー	148～150	ジェルネイル①
61～63	ジェルネイル　グラデーション	151～153	ジェルネイル②
64～66	ジェルネイル　フレンチ	154～156	ジェルネイル③
67～69	後期期末考査	157～159	2年卒業試験
70～72	ジェルネイル　アート①	160～162	ジェルネイル作品制作①
73～75	ジェルネイル　アート②	163～165	ジェルネイル作品制作②
76～78	ジェルネイル　相モデル練習①	166～168	ジェルネイル作品制作③
79～81	ジェルネイル　相モデル練習②	169～171	ジェルネイル作品制作④
82～84	ジェルネイル　相モデル練習③	172～174	ジェルネイル作品制作⑤
85～87	ジェルネイル　相モデル練習④	175～177	ジェルネイル作品制作⑥
88～90	ジェルネイル　相モデル練習⑤	178～180	ジェルネイル作品制作⑦
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS004	パーソナルカラー	講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年　通年 2年　前期	45分	90	3

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
是枝　智美	専任	

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

パーソナルカラーとは，その人自身が持っている肌・髪・眼などの色素をもとにした，「似合う色」のことである。1年次にはパーソナルカラーの基本について学び，2年次にはアドバイザーとしてクライアント（お客様）に最適なアドバイスをするための方法を学ぶ。自分自身の色素の特徴を知り，より魅力的に見せることができるとともに，ビューティ・ウェディング科で学習するメイクやネイル，ブライダルのコスチューム等と関連して，お客様へ最適なアドバイスができるようになることを目標とする。1年次は色彩活用パーソナルカラー検定3級，2年次は2級合格を目指す。

■ 成績評価基準

期末考査　90%　授業態度・提出物等　10%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
日本カラーコーディネーター協会	色彩活用パーソナルカラー検定　公式テキスト3級［改訂版］	アプレ
日本カラーコーディネーター協会	色彩活用パーソナルカラー検定　公式テキスト2級［改訂版］	アプレ
日本カラーコーディネーター協会	色彩活用パーソナルカラー検定　3級・2級 公式問題集	日本カラーコーディネーター協会

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容 〈1年次〉	回	授　業　内　容 〈1年次〉
1・2	パーソナルカラーとは，色の三属性	31・32	似合う色の取り入れ方①　ファッション
3・4	パーソナルカラー4つのグループ， 色のイメージとトーン	33・34	似合う色の取り入れ方②　素材・柄・アクセサリー
5・6	慣用色名とシーンのイメージ，イメージワード	35・36	P.I.を活かした自分ブランディング
7・8	P.I.について	37・38	検定対策①
9・10	色素　肌・髪・眼	39・40	検定対策②
11・12	4シーズンの色素傾向	41・42	検定対策③
13・14	パーソナルカラー診断	43・44	PCCS
15・16	対比	45・46	色名・慣用色名
17・18	反射と吸収	47・48	色が見えるしくみ，混色
19・20	ドレーピング方法	49・50	色の心理的効果
21・22	色と光	51・52	同化と対比
23・24	ドレーピング方法	53・54	1年後期期末考査
25・26	似合う色と似合わない色	55・56	配色の基本　色相配色
27・28	ドレーピング演習	57・58	トーン配色
29・30	1年前期期末考査	59・60	配色の応用

■ 授業計画

回	授 業 内 容 〈2年次〉	回	授 業 内 容 〈2年次〉
61・62	クライアントアドバイス①	77・78	さまざまなアイテムへの活用法
63・64	クライアントアドバイス②	79・80	ヘア＆メイクカラー，ネイルカラー
65・66	色素傾向と似合う色	81・82	ブライダル
67・68	似合う色と肌トラブル	83・84	コーディネートアドバイス
69・70	似合う色の色素の見え方とエイジング	85・86	検定対策①
71・72	似合う色の肌へのアドバイス	87・88	検定対策②
73・74	三属性に基づくドレーピング	89・90	2年前期期末考査
75・76	ドレーピング演習		
備考	1年次60時間，2年次30時間授業を行う。		

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS005	衛生学	講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	通年	45分	30	1

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
児玉　律子	専任	化粧品メーカー直営サロンを経営し、ビューティディレクターの業務に従事

■ その他教員　前田　知佳

■ 授業概要及び到達目標

エステティックサロンなど美容系の衛生業務を行う施設・設備・器具などの衛生的管理及び消毒並びに従業員の健康管理の措置により，美容業務に関する衛生の向上及び安全確保の必要性を理解し，Ajesthe認定衛生管理者の資格取得を目指す。

■ 成績評価基準

期末考査80%　授業態度・確認テスト20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
公益財団法人日本エステティック研究財団	エステティックの衛生基準	公益財団法人日本エステティック研究財団
公益財団法人日本エステティック研究財団	衛生管理ハンドブック	公益財団法人日本エステティック研究財団

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1	衛生管理の基本	16	その他の感染症
2	正しい手洗いの方法	17	感染症の法規制
3	衛生管理導入の準備	18	9～17　振り返り
4	チェックリストについて	19	確認テスト②
5	消毒方法1	20	確認テスト①②の復習
6	設備及び室内環境	21	感染症発生動向調査別報告一覧の解説
7	1～6　振り返り	22	公衆衛生
8	確認テスト①	23	21～22　振り返り
9	感染症について①	24	保健
10	感染症について②	25	感染症と法律
11	病原経路	26	接客業務に関する健康被害の実態について
12	感染のメカニズム	27	具体的な対策の例
13	ウイルスによる感染症	28	模擬試験
14	細菌による感染症	29	衛生管理者試験
15	真菌による感染症	30	まとめ
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS006	アロマテラピー基礎	講義，演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	後期	45分	30	1

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
千々岩　夕子	兼任	美容室の専属アロマスパニストとして従事後，アロマサロンを開業。

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

アロマテラピーとは芳香療法と訳され，主に健康や美容ストレスに役立てられる。近年ではアロマが多種多様に活用され華やかな場面での演出にも欠かせないものになりつつあり，アロマに対する知識を有し，効果的に実践・提供できる人が求められている。個人の目的に沿った精油の選び方，より豊かなライフスタイルの提供，TPOに合わせた空間演出が行える人材育成を目指す。

■ 成績評価基準

期末考査80%　授業態度・確認テスト20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2	香りの成分と働きかたについて知る	16・17	精油の効果を理解する
3・4	嗅覚の仕組み，香りを感じるしくみ	18・19	精油を使ったクラフト作り
5・6	精油の特徴，吸収経路	20・21	個々別，心身の悩み別レシピ
7・8	アロマセラピー活用法	22・23	アロマを使った空間作り
9・10	精油の禁忌，注意点	24・25	トリートメントオイル作成
11・12	香りの歴史（世界，日本）	26・27	香りの調合，香りの変化
13・14	香りの歴史（世界，日本）	28・29	総まとめ復習
15	確認テスト	30	確認試験（後期期末考査）
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS007	コスチューム（洋装）	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	通年	45分	30	1

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
黒鳥　美津代	兼任	ブライダルコスチューム店にてブライダルスタイリストとして従事後，ヘアメイク・エステティックサロン開業。結婚式や前撮りにおける新郎新婦のお支度，成人式の和装着付け等にも携わる。

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

ブライダルにおける洋装スタイルのフィッティングについて学習する。フィッティングにおける体系補正やドレス補正の仕方を身に付け，コスチュームの仕事を理解する。

■ 成績評価基準

期末考査　80%　授業態度・提出物等　20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
日本ウエディングプランナー・ネットワーク協会	ウエディングプランナーテキスト	日本ウエディングプランナー・ネットワーク協会

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2	ドレスの素材やラインについて①	17・18	ドレスフィッティングの応用①
3・4	ドレスの素材やラインについて②	19・20	ドレスフィッティングの応用②
5・6	ドレスの素材やラインについて③	21・22	ドレスフィッティングの応用③
7・8	洋装小物について①	23・24	体形補正について①
9・10	洋装小物について②	25・26	体形補正について②
11・12	ドレスフィッティングの基本①	27・28	ドレス補正について①
13・14	ドレスフィッティングの基本②	29・30	ドレス補正について② 後期期末考査
15・16	ドレスフィッティングの基本③ 前期期末考査		
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS008	コスチューム（和装）Ⅰ	演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	45分	45	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
是枝　智美	専任	

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

浴衣を自分で着る自装，他人に着せる他装を繰り返し練習することで，「きれい」に「着崩れしない」ように着る，あるいは着せる方法を身に付ける。また，小紋等の着物の着装方法と，二重太鼓を練習する。着物を着た際の所作や，マナー，礼法等も学習し，それらが実践できるようになることを目標とする。

■ 成績評価基準

浴衣着付け確認テスト（実技試験）50%，期末考査（実技試験）50%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容
1～3	道具の名称・使用方法，浴衣の着付け（自装）①，浴衣のたたみ方
4～6	着付け前のセッティング方法，浴衣の着付け（自装）②，半幅帯の結び方・文庫結び①
7～9	浴衣の着付け（自装）③，半幅帯の結び方・文庫結び②，礼法（お辞儀の仕方）
10～12	浴衣の着付け（他装）①，半幅帯の結び方・貝の口①，礼法（風呂敷の使用方法）
13～15	浴衣の着付け（他装）②，半幅帯の結び方・貝の口②，浴衣着用時の作法
16～18	浴衣の着付け（自装），帯結び応用編
19～21	浴衣の着付け（自装）　確認テスト
22～24	着付け前のセッティング方法，着物（小紋等）の着付け（自装）①，長襦袢，小紋の着方のポイント
25～27	着物（小紋等）の着付け（自装）②，二重太鼓①
28～30	着物（小紋等）の着付け（自装）③，二重太鼓②
31～33	着物（小紋等）の着付け（自装）④，二重太鼓③，礼法（和室での所作）
34～36	着物（小紋等）の着付け（自装）⑤，二重太鼓④，着物の種類とTPO
37～39	着物（小紋等）の着付け（自装）⑥，二重太鼓⑤
40～42	着物（小紋等）の着付け（自装）　総復習
43～45	前期期末考査（実技試験／着物（小紋等）の着付け（自装））
備考	3コマ通しの授業を1回とし，週に1回授業を行う。必要に応じてプリントを配付する。 学習した内容を普段から意識し，技術の向上に努めること。

学校法人原田学園　鹿児島キャリデザイン専門学校
授業シラバス

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	エステティックコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS009	エステティック学Ⅰ	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	45分	30	1

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
藤井　紡	兼任	エステティックサロンにてエステティシャンとして業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

現代社会では複雑化，高度化する環境への適合が出来ずに，人々はストレスを感じることも多く，「いつも美しく健康で過ごす」ことへの関心は年齢に関係なく，年々高まる傾向にある。このような背景から「人を癒しながら美しく健康を維持する」というスキンタッチを重視したソワンエステティックの本質は予防医学の観点からみても高齢化が進む社会においても必要であり，これからさらに多くの人々から支持を得られると考えられる。「エステティック」の知識を学び，「認定フェイシャルエステティシャン」の資格取得を目指す。

■ 成績評価基準

期末考査（80%）授業態度（20%）

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
一般社団法人　日本エステティック協会	認定フェイシャルエステティシャン　認定ボディエステティシャン　理論と技術	協会出版物サービスセンター

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容
1～2	エステティックとは
3～4	ホメオスタシスとストレス
5～6	身体のしくみと働き1
7～8	身体のしくみと働き2
9～11	皮膚のしくみと働き1
12～14	皮膚のしくみと働き2
15～18	エステティックとは，カウンセリングとは
19～21	化粧品の種類と働き
22～24	栄養の知識
25～26	エステティックにおける衛生と消毒
27～28	ボディエステティックの基礎知識
29～30	フェイシャルエステティックの基礎知識
備考	

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS010	フェイシャルエステティックⅠ	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	45分	90	3

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
前田　知佳	専任	エステティックサロンにてエステティシャンとして業務に従事

■　その他教員　紀川啓子，藤井紡

■ 授業概要及び到達目標

フェイシャルエステティックに必要な基礎知識と理論を理解し，基本的なフェイシャルテクニックを習得することで，「認定フェイシャルエステティシャン」の資格取得を目指す。

■ 成績評価基準

定期考査80%，平常点20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
一般社団法人　日本エステティック協会	新エステティック学　理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	協会出版物サービスセンター

■ 特記事項

■　授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1～6	フェイシャルエステティックの目的と効果 衛生管理(消毒法)	49～54	フェイシャルマッサージ④(全行程通し)
7～12	事前準備(ベッドメイキング、ワゴンセッティング) お客様の誘導、セッティング	55～60	ディープクレンジング①
13～18	皮膚学、クレンジング(ポイントメイク～拭き取り)①	61～66	ディープクレンジング②
19～24	クレンジング(ポイントメイク～拭き取り)②	67～72	パック・マスク①
25～30	クレンジング(ポイントメイク～拭き取り)③	73～78	パック・マスク②
31～36	フェイシャルマッサージ①(軽擦法)	79～84	全行程通し(クレンジング～マスク、仕上げ)①
37～42	フェイシャルマッサージ②(強擦法，揉捏法)	85～90	全行程通し(クレンジング～マスク、仕上げ)②
43～48	フェイシャルマッサージ③(打法，振動法、圧迫法)		
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS011	ブライダル総論Ⅰ	講義，演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	45分	45	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
小原　博昭	専任	結婚式場にてブライダルコーディネーターとして業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

ライフスタイルの変化や価値観の多様化，個性化にともないブライダル関連業界も変化への対応を求められている。こうした“業界の変化”にフレキシブルに対応できる人材を育成するため，まずブライダル業界の地域における風習や習慣を含む基本知識を学び，1年後期から行う他のブライダル科目（応用編）の骨格を習得することを目標とする。

■ 成績評価基準

期末考査（筆記もしくはロールプレイング）　80%　授業態度・提出物等　20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
日本ウエディングプランナー・ネットワーク協会	ウエディングプランナーテキスト	日本ウエディングプランナー・ネットワーク協会

■ 特記事項

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2・3	ヒューマン概論	25・26・27	実務概論②
4・5・6	歴史概論	28・29・30	テーブルプラン①
7・8・9	言語概論	31・32・33	テーブルプラン②
10・11・12	プレゼンテーション概論	34・35・36	クリエイティブ概論
13・14・15	プレゼンテーション実技①	37・38・39	セールスプロモーション①②
16・17・18	接客概論	40・41・42	マーケットの把握①（鹿児島・宮崎・熊本・沖縄）
19・20・21	接客ロールプレイング実技①	43・44	マーケットの把握②（福岡・長崎・佐賀・大分）
22・23・24	実務概論①	45	1年前期期末考査
備考			

学校法人原田学園　鹿児島キャリデザイン専門学校
授業シラバス

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	エステティックコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS012	エステティック学Ⅱ	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	後期	45分	30	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
藤井　紡	兼任	エステティックサロンにてエステティシャンとして業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

皮膚科学や解剖生理学を通して，皮膚や身体の働きとしくみを理解し，美しく健康に保つための方法を学ぶ。また公衆衛生や関連法規を学ぶことで法令遵守の意識を育てる。エステティックに関する基礎的な知識を習得し，エステティックの本質と現状を知ることで，エステティシャンとしての社会的な役割とホスピタリティ精神を育む。「認定エステティシャン」資格取得を目指す。

■ 成績評価基準

期末考査（80%）授業態度（20%）

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
一般社団法人　日本エステティック協会	新エステティック学　理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	協会出版物サービスセンター

■ 特記事項

エステティックコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容		
1～2	エステティック概論	15～16	エステティックカウンセリング
3～4	公衆衛生・衛生管理	17～18	運動生理学
5～6	皮膚科学	19～20	サロン経営学
7～8	生命活動とホメオスタシス	21～22	接客マナー
9～10	解剖生理学	23～24	救急法
11～12	栄養学	25～26	エステティック機器学
13～14	化粧品学	27～30	検定対策
備考			

学校法人原田学園　鹿児島キャリデザイン専門学校
授業シラバス

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	エステティックコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS013	フェイシャルエステティックⅡ	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年　後期 2年　通年	45分	240	8

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
前田　知佳	専任	エステティックサロンにてエステティシャンとして業務に従事

■ その他教員　紀川啓子，藤井紡

■ 授業概要及び到達目標

1年前期で習得したフェイシャルエステティックのそれぞれの工程の意味を理解し，肌タイプの見極めやお客様の肌のお悩みを解消できる的確なトリートメントプランを提案できるよう学び，認定エステティシャンの資格取得を目指す。
2年次ではエステティックに関するフェイシャルの基礎理論・技術を理解し，肌タイプの見極めやお客様のお悩みに対して適正なトリートメントプランをたて，的確なホームケアアドバイスを伝えられるよう学び，「AJESTHE認定上級エステティシャン」資格取得を目指す。

■ 成績評価基準

定期考査80%，平常点20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
一般社団法人　日本エステティック協会	新エステティック学（理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、技術編Ⅰ・Ⅱ、選択科目編）	協会出版物サービスセンター

■ 特記事項

エステティックコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1～6	フェイシャルカウンセリング①(聞き取り，肌分析)	121～126	上級認定エステティシャン対策④（メイクアップ）
7～12	フェイシャルカウンセリング②(トリートメントプラン) ホームケアアドバイス(スキンケア・食事・生活習慣等)	127～132	上級認定エステティシャン対策⑤（カウンセリング）
13～18	フェイシャルカウンセリング③（相モデルにて実施）	133～138	上級認定エステティシャン対策⑥（カウンセリング）
19～24	フェイシャル機器①(イオン導入)	139～144	上級認定エステティシャン対策⑦（カウンセリング）
25～30	フェイシャル機器②(パター)	145～150	上級認定エステティシャン対策⑧（フェイシャルマッサージ）
31～36	認定エステティシャン検定対策①	151～156	上級認定エステティシャン対策⑨（フェイシャルマッサージ）
37～42	認定エステティシャン検定対策②	157～162	前期期末考査
43～48	認定エステティシャン検定対策③	163～168	上級認定エステティシャン対策⑩（全行程）
49～54	認定エステティシャン検定試験	169～174	上級認定エステティシャン対策⑪（全行程）
55～60	フェイシャル施術① （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）	175～180	上級認定エステティシャン対策⑫（模擬）
61～66	フェイシャル施術② （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）	181～186	上級認定エステティシャン対策⑬（模擬）
67～72	フェイシャル施術③ （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）	187～192	上級認定エステティシャン実技試験
73～78	フェイシャル施術④ （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）	193～198	上級認定エステティシャン実技試験(振り返り)
79～84	フェイシャル施術⑤ （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）	199～204	フェイシャルマッサージ①
85～90	後期期末考査	205～210	フェイシャルマッサージ②
91～96	フェイシャル施術⑥ （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）	211～216	フェイシャルマッサージ③
97～102	フェイシャル施術⑦ （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）	217～222	フェイシャル施術①
103～108	上級認定エステティシャン対策①（ネイルケア）	223～228	フェイシャル施術②
109～114	上級認定エステティシャン対策②（ネイルケア）	229～234	フェイシャル施術③
115～120	上級認定エステティシャン対策③（メイクアップ）	235～240	フェイシャル施術④
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	エステティックコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS014	ボディエステティック	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年　後期 2年　通年	45分	240	8

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
前田　知佳	専任	エステティックサロンにてエステティシャンとして業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

ボディエステティックのそれぞれの工程の意味を理解し，体型・体質の見極めやお身体のお悩みを解消できるトリートメントプランを提案できるよう学び，1年次は「認定エステティシャン」の資格取得を目指す。
2年次では基礎理論・技術をさらに深く理解し，適正なトリートメントプランをたて，お客様のお悩みに対して的確なホームケアアドバイスを伝えられるよう学び，「AJESTHE認定上級エステティシャン」の資格取得を目指す。

■ 成績評価基準

定期考査80%，平常点20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
一般社団法人　日本エステティック協会	新エステティック学（理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、技術編Ⅰ・Ⅱ、選択科目編）	協会出版物サービスセンター

■ 特記事項

エステティックコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容 ＜1年次＞	回	授　業　内　容 ＜1年次＞
1～3	ボディエステティックの目的と効果，施術の流れ 事前準備(ベッドメイキングワゴンセッティング)	37～39	エステティック機器③ （低周波）
4～6	ボディトリートメント(目的と効果，マニュピレーション) ボディトリートメントテクニック(前操作，下肢背面)	40～42	エステティック機器④ （機器の選択，相モデルにて実施）
7～9	ボディトリートメントテクニック① （腰背部，下肢前面）	43～45	後期期末考査
10～12	ボディトリートメントテクニック② （上肢，腹部，デコルテ）	46～48	ボディトリートメント（マッサージ・機器）
13～15	ボディトリートメントテクニック③ （全工程）	49～54	ワックス脱毛概論
16～18	ボディカウンセリング①(聞き取り，身体の分析)	55～60	ワックス脱毛施術①
19～21	ボディカウンセリング②(トリートメントプラン) ホームケアアドバイス(食事・運動・生活習慣等)	61～66	ワックス脱毛施術②
22～24	認定エステティシャン検定対策	67～72	ワックス脱毛施術③
25～27	認定エステティシャン検定試験	73～78	ハイドロセラピー①(アフュージョンベッド)
28～30	エステティック機器 （目的・効果，禁忌事項，注意事項）	79～84	ハイドロセラピー②(アフュージョンベッド)
31～33	エステティック機器①(バイブレーター)	85～90	ヘッドスパ①
34～36	エステティック機器②(サクション)		

■ 授業計画			
回	授 業 内 容 〈2年次〉	回	授 業 内 容 〈2年次〉
91～96	ヘッドスパ②	169～174	上級認定エステティシャン対策⑫（模擬）
97～102	上級認定エステティシャン対策①（カウンセリング）	175～180	上級認定エステティシャン実技試験
103～108	上級認定エステティシャン対策②（カウンセリング）	181～186	上級認定エステティシャン実技試験(振り返り)
109～114	上級認定エステティシャン対策③（カウンセリング）	187～192	アロマオイルマッサージ①
115～120	上級認定エステティシャン対策④（マッサージ）	193～198	アロマオイルマッサージ②
121～126	上級認定エステティシャン対策⑤（マッサージ）	199～204	フットケア①
127～132	前期期末考査	205～210	フットケア②
133～138	上級認定エステティシャン対策⑥（機器）	211～216	リフレクソロジー
139～144	上級認定エステティシャン対策⑦（脱毛）	217～222	ボディ施術① （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）
145～150	上級認定エステティシャン対策⑧（全行程）	223～228	ボディ施術② （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）
151～156	上級認定エステティシャン対策⑨（全行程）	229～234	ボディ施術③ （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）
157～162	上級認定エステティシャン対策⑩（全行程）	235～240	ボディ施術④ （施術内容プランニング⇒施術⇒アフターカウンセリング）
163～168	上級認定エステティシャン対策⑪（模擬）		
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	エステティックコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS015	エステティック応用	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	通年	45分	255	11

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
上原　文	兼任	エステティックサロンにてエステティシャンとして業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

基本的な接客マナーや電話対応に加え，エステティシャンとして必要なお客様への気配りも学習していくことで，学生サロンやサロン現場で活きる接客スキルを習得する。また，新規接客や様々なカウンセリング方法について学び，顧客心理に基づいた売上に繋がるトークスキルを習得する。

■ 成績評価基準

定期考査80%，平常点20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
一般社団法人　日本エステティック協会	新エステティック学（理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、技術編Ⅰ・Ⅱ、選択科目編）	協会出版物サービスセンター

■ 特記事項

エステティックコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容 〈1年次〉	回	授　業　内　容 〈1年次〉
1～5	サロンワークについて①	46～50	接客ロープレ①
6～10	サロンワークについて②	51～55	接客ロープレ②
11～15	サロンワークについて③	56～60	接客ロープレ③
16～20	接客対応①	61～65	接客ロープレ④
21～25	接客対応②	66～70	クレーム対応①
26～30	接客対応③	71～75	クレーム対応②
31～35	新規接客①	76～80	クレーム対応③
36～40	新規接客②	81～85	メイクアップ技術①
41～45	新規接客③	86～90	メイクアップ技術②

■ 授業計画

回	授 業 内 容 〈2年次〉	回	授 業 内 容 〈2年次〉
91～95	メイクアップ技術③	181～185	脱毛カウンセリング①
96～100	メイクアップ技術④	186～190	脱毛カウンセリング②
101～105	デコルテマッサージ①	191～200	TELカウンセリング
106～110	デコルテマッサージ②	201～205	鏡カウンセリング①
111～115	フェイシャルマッサージ①	206～210	鏡カウンセリング②
116～120	フェイシャルマッサージ②	211～215	コースプランニング①
121～125	フェイシャルマッサージ③	216～220	コースプランニング②
136～140	ボディマッサージ①	221～225	クロージング①
141～145	ボディマッサージ②	226～230	クロージング②
146～150	ボディマッサージ③	231～235	クロージング③
151～160	カウンセリング	236～240	接客ロープレ①
161～165	痩身カウンセリング①	241～245	接客ロープレ②
166～170	痩身カウンセリング②	246～250	接客ロープレ③
171～175	美顔カウンセリング①	251～255	接客ロープレ④
176～180	美顔カウンセリング②		
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	コスメチックコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS016	メイクⅡ	演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年　後期 2年　通年	45分	75	3

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
児玉　律子	専任	化粧品メーカー直営サロンを経営し、ビューティディレクターの業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

コスメチック商品を取り扱う美容のプロを育成する。1年次では，化粧品の基本的なステップと肌のしくみや機能を正しく理解し，化粧品検定3級レベルの全てを知識として身につける。
2年次では，皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク法，美肌に導く美容知識を習得し，化粧品検定2級取得を目標とする。

■ 成績評価基準

定期考査70%　授業態度・検定結果30%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
JCLA　日本化粧品検定協会	日本化粧品検定2級・3級対策テキスト	主婦の友社
JCLA　日本化粧品検定協会	日本化粧品検定1級テキスト	主婦の友社

■ 特記事項

コスメチックコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容 〈1年次〉	回	授　業　内　容 〈2年次〉
1・2	日本化粧品検定試験の流れ（3級・2級・2級・コスメコンシェルジュ）出題傾向と3級WEB受験	31・32・33・34	皮膚の機能③
3・4	クレンジング・洗顔の基本	35・36・37・38	肌タイプと見分け方
5・6	化粧水・美容液・乳液・クリームの基礎知識	39・40・41・42	肌悩みの原因とお手入れ①
7・8	勘違いしがちな肌悩みの対処法	43・44・45・46	肌悩みの原因とお手入れ②
9・10	スペシャルケアに関する素朴な疑問	47・48・49・50	メイクアップの基本テクニック①
11・12	日焼け止め・メイクアップの基本	51・52	肌悩みに応じた化粧品の使い方
13・14	さまざまな肌トラブルの対処法	53・54	肌を劣化させるさまざまな要因 紫外線が肌に与える影響
15	小テスト	55・56	効果的なマッサージの必要性 効果的なマッサージの方法
16・17	ボディケア・ヘアケアの基本	57・58	美しい肌をつくる生活習慣
18・19	皮膚の構造	59～62	化粧品検定2級対策
20・21	皮膚のしくみと働き①	63・64	化粧品の歴史
22・23	皮膚のしくみと働き②	65・66・67・68	化粧品原料と基礎知識 水溶性成分・油性成分
24・25	皮膚のしくみと働き③	69・70	界面活性剤とは 酸化防止・防腐剤
26・27	皮膚の機能①	71・72	スキンケア化粧品について おもな構成成分
28・29・30	皮膚の機能②	73・74	メイクアップ化粧品について UVケア・化粧下地
		75	期末考査
備考			

学校法人原田学園　鹿児島キャリデザイン専門学校
授業シラバス

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	コスメチックコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS017	メイクセラピー	演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	後期	45分	45	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
児玉　律子	専任	化粧品メーカー直営サロンを経営し、ビューティディレクターの業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

心理カウンセリングに必要な「心理学」「コミニケーション」，メイクアップに必要な「メイク理論」「色彩学」を学び，メイクセラピーの概念を総合的に理解し，メイクセラピー検定3級合格を目指す。心理概論に基づいたメイクセラピーの手法を取り入れ，半顔メイク実践練習を行い，2級検定技術を習得する。

■ 成績評価基準

定期考査70%　授業態度・検定結果30%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
岩井　結美子	メイクセラピスト3級・2級対策テキスト(DVD付き)	メイクセラピー検定事務局

■ 特記事項

コスメチックコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2・3	メイクセラピー検定導入	23・24・25	メイクアップ概論③色の印象
	メイクセラピーの目的と役割		メイクアップ概論④色彩心理
4・5・6	メイクセラピーの要素	26・27・28	メイクアップ概論⑤補色効果・色相環
	メイクセラピーの手法①オーダーカウンセリング		パーソナルカラーについて
7・8・9	メイクセラピーの手法②半顔メイク～活用法	29・30・31	コスメティックの質感
	カウンセリング概論（起源～事例）		流行のメイク、テクニック、商品の把握
10・11・12	顔と心と化粧の関係①気分・感情	32・33・34	基本となるコスメティックとメイクアップ道具
	顔と心と化粧の関係②思い込みと印象		ベースメイク
13・14・15	化粧をする理由	35・36・37	ポイントメイク
	スキンケア概論①顔と部位と名称		その他のメイクのコスメティック
16・17・18	スキンケア概論②肌のタイプ・表情筋	38・39・40	印象分析①パーツバランス
	スキンケア概論③基礎化粧法		印象分析②コミュニケーション
19・20・21	メイクアップ概論①メイクセラピーに必要な3大要素	41・42	検定対策①
	メイクアップ概論②パーツバランス・錯覚効果	43・44	検定対策②
22	小テスト	45	後期期末考査
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	コスメチックコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS018	メイク応用	演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年　後期 2年　通年	45分	600	22

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
児玉　律子	専任	化粧品メーカー直営サロンを経営し、ビューティディレクターの業務に従事

■ その他教員　榎園麻衣子・松山楓・柴田絵麻

■ 授業概要及び到達目標

1年次後期は，JMAシュウウエムラ技術検定，JMAメイクアップ技術検定1級を習得する。企業・施設などに学生を派遣し，短期間の実務経験を体験する。提供するメニューも学生自らプロデュースし，身に付けたネイル技術や浴衣の着付け，メイクレッスンなどを行う。また体験を通して身に付けるべき技術の習得に励み，次に繋がるプロの美容部員としてのスキルアップに努める事を目的とする。

■ 成績評価基準

メニュー別技術力評価：平常点50%　体験企業様からの評価点50%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
JCLA　日本化粧品検定協会	化粧品検定協会1級対策テキスト	主婦の友社
百日草	はなよめ	百日草　株式会社
日本ロレアル株式会社プロフェッショナルプロダクツ事業本部	シュウウエムラメイクアップ技術検定テキスト	一般社団法人JMA

■ 特記事項

コスメチックコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容	
1～6	SHU　検定要項について（技術検定試験の流れ）歴史・哲学	162～167	化粧品法律・ルール	
		168～173	化粧品学総復習	
7～12	皮膚の成り立ち・皮膚理論確認テスト	174～179	コスメ接客マナー（挨拶，表情，所作，言葉遣い）	
13～18	ポイントクレンジング（相モデル）	180～185	販売学基礎	
19～24	ベースクレンジング（オイル塗布～ネック）	186～191	販売実践	
25～30	ローショントーニング（～パッティング手技）	192～210	コスメコンシェルジュプログラム	
31～36	クリームトーニング（～ティッシュオフ）	211～509	「メイクレッスン」 レッスン準備 レッスンメニュー技術練習	ハワイアンフェスタ
37～42	スキンケアテクニック			TESS　BRIDAL①
43・44・45	メイクアップコンセプト（ファンデーション～フェイス）			TESS　BRIDAL②
46～51	リップメイクアップ			TESS　BRIDAL③
52・53・54	アイメイク（アイブロウ・シャドウ）			企業コラボ「POLA」①
55～60	チークメイク（ブラシ）			企業コラボ「POLA」②
61～90	期末考査 SHU検定試験 JMAメイクアップ技術1級検定			企業コラボ「POLA」③
				POLDER　Terrace①
				POLDER　Terrace②
				浴衣祭り：着付け
91・92・93	メイクレッスン準備			ハロウインメイク：レクストンホテル
94・95・96	メイクレッスンデモ,相モデルメイク			ダンスサークルヘアメイク
	イベント・コラボ企画・準備			クリスマスパーティ：ジェルネイル
97～102	イベントメニュー練習			就活メイクレッスン
103～108	ジェルネイル・ハンドケア	510～594	ヘアメイクコンテスト作品制作	・ウイッグ：アートメイク，ヘアアレンジ ・ヘア：アップスタイル，ダウンスタイル ・ヘアアレンジスタイルベーシック ・日本髪 ・洋装に合うヘアスタイル ・袴に合うヘアスタイル ・オリジナルデザイン
109～113	確認テスト			
114～119	校外イベント（創業祭・文化祭）ヘアメイク＆着付け参加評価			
120～125	イベント練習①和装・日本髪			
126～131	イベント参加　和装・日本髪			
132～137	イベント振り返り・体験報告書作成＆報告			
138～143	ポイントメイク・アイメイク化粧品			
144～149	ボディ化粧品について（洗浄・防臭・脱毛・入浴・シェイプアップ）			
150～155	毛髪の構造・ヘアケア商品変化とトラブル・爪の構造			
156～161	オーラルケア・香り・サプリメント基礎知識	595～600	コンテスト作品撮影	
備考				

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	コスメチックコース，ブライダルコーディネートコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS019	コスチューム（和装）Ⅱ	演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	後期	45分	45	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
是枝　智美	専任	

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

自分で留袖を着る，他人に留袖を着せる練習をし，「きれい」に「着崩れない」ように着る，あるいは着せる方法を身に付ける。また，着せるだけではなく，着崩れをしたときの修正の仕方等も学習し，ブライダル等の現場で実践できる知識と技術を身に付けることを目標とする。

■ 成績評価基準

留袖着付け確認テスト（実技試験／自装）50%
留袖着付け確認テスト（実技試験／他装）50%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社

■ 特記事項

コスメチックコース
ブライダルコーディネートコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容
1～3	着物・帯の種類と名称，着付け前のセッティング方法，留袖の着付け（自装）①
4～6	留袖の着付け（自装）②
7～9	留袖の着付け（自装）③，留袖着付けのポイント
10～12	留袖の着付け（自装）④，着崩れた際の修正方法
13～15	留袖の着付け（自装）⑤
16～18	留袖の着付け（自装）　確認テスト
19～21	留袖の着付け（他装）①，他装時のポイント（留袖の着せ方）
22～24	留袖の着付け（他装）②，他装時のポイント（二重太鼓）
25～27	留袖の着付け（他装）③
28～30	留袖の着付け（他装）④
31～33	留袖の着付け（他装）⑤　制限時間内での他装
34～36	留袖の着付け（他装）⑥　制限時間内での他装
37～39	後期期末考査（留袖の他装・実技試験）
40～42	袴の着付け①，袴のたたみ方
43～45	袴の着付け②
備考	3コマ通しの授業を1回とし，週に1回授業を行う。必要に応じてプリントを配付する。 学習した内容を普段から意識し，技術の向上に努めること。

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	ブライダルコーディネートコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS020	プランナー演習	講義・演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年　後期 2年　前期	45分	60	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
インディゴ　寿子	兼任	結婚式場へのクラウドシステム構築，企画提案の業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

現代のウェディング知識・スキーム等を具体的に理解し，技術スキルやホスピタリティースキル・企画運営力を学ぶ。IT化の発展と共にウェディング業界でもスキル追及が必要とされる中，クラウドシステム機能技術を身につけ，認定試験に合格することを目標とする。
また，ウェディング会場見学など実際にどのような場面で業務をし，運営されているかを学ぶ。結婚式場の特徴やコンセプト・企画を考え，ブライダル新聞などでのアピール発信力を身につける。ウェディング業界はレベルの高い接客力を求められるため，お客様に寄り添うホスピタリティーを学び，カウンセリング力を高めるメンタルを習得する。また，「現役プランナー」の外部講師による仕事内容等の具体化で，仕組みや考え方を学ぶ。

■ 成績評価基準

one-wシステム認定試験を評価基準とする（1年後期期末考査）
プレゼンテーション評価20%　提出物80%（2年前期期末考査・2年卒業考査）

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
one-wシステム	ブライダルプランナー実務演習	PIEM株式会社
産業カウンセラー	カウンセリング実務	産業カウンセラー協会
内海和佳子	CINEMA WEDDING：映画みたいな結婚式のためのアイデアと実例	誠文堂新光社

■ 特記事項

ブライダルコーディネートコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容 ＜1年次＞	回	授　業　内　容 ＜2年次＞
1・2	one-Wシステムの基本①	31～34	カウンセリング概論（カウンセリングとは）
3・4	one-Wシステムの基本②	35～38	カウンセリング実務（カウンセリングロールプレイング）
5・6	one-Wシステムの基本③	39～42	手作りアイテム制作概論（リングピロー作成）
7・8	one-Wシステムの操作①	43～50	手作りアイテム制作実務（リングピロー作成） 2年前期期末考査
9・10	one-Wシステムの操作②	51～60	施設実務　挙式会場見学と事業把握　実務研修 2年前期期末考査
11・12	one-Wシステムの操作③		
13・14	one-Wシステムの便利な機能①		
15・16	one-Wシステムの便利な機能②		
17・18	one-Wシステムの新郎新婦操作①		
19・20	one-Wシステムの新郎新婦操作②		
21・22	one-Wシステム総合ポイント実務①		
23・24	one-Wシステム総合ポイント実務②		
25・26	one-Wシステム検定対策①		
27・28	one-Wシステム検定対策②		
29・30	one-Wシステム検定対策③ 1年後期期末考査		
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	ブライダルコーディネートコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS021	ブライダル総論Ⅱ	講義・演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年　後期 2年　通年	45分	300	12

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
小原　博昭	専任	結婚式場にてブライダルコーディネーターとして業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

「ブライダル総論Ⅰ」の基本知識をベースに，日本および世界の文化，国や行政機関が制定した法令，地域の習慣，国内外の宗教，儀礼，作法など幅広い応用知識を習得し，結婚および結婚式・披露宴に関わる専門知識と演出やプログラムなどの企画・提案のプロデューサーとしての役割や打合せ内容通りの施行を行うオペレーション能力を学ぶ。2年次1月実施のブライダルコーディネート技能検定（国家資格）3級合格を目指す。

■ 成績評価基準

期末考査（筆記もしくはロールプレイング）　80%　授業態度・提出物等　20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
日本ウエディングプランナー・ネットワーク協会	ウエディングプランナーテキスト	日本ウエディングプランナー・ネットワーク協会
BIA 日本ブライダル文化振興協会	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード	BIA 日本ブライダル文化振興協会

■ 特記事項

ブライダルコーディネートコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容 ＜1年次＞	回	授　業　内　容 ＜1年次＞
1～5	マーケットの把握③（関西）	36～40	写真・映像概論
6～10	マーケットの把握④（関東）	41～45	司会・音響・照明概論
11～15	マーケットの把握⑤（中部・北陸・東北・北海道）	46～50	婚約/結婚指輪・熨斗・水引・引出物
16～20	飲食概論	51～55	法令概論・1年後期期末考査
21～25	パートナー企業	56～60	プレゼンテーション概論
26～30	装花の役割	61～70	プレゼンテーション実技②
31～35	婚礼衣装（和装・洋装）	71～75	接客概論

■ 授業計画

回	授 業 内 容 〈2年次〉	回	授 業 内 容 〈2年次〉
76～80	接客ロールプレイング②	166～175	打合せ業務①②
81～90	〔職業実践専門課程〕少額短期保険募集人	176～185	打合せ業務③④
91～95	日本の結婚式・歴史と文化	186～190	会場/テーブルコーディネート・ペーパーアイテム
96～100	欧米の結婚式・歴史と文化①	191～195	料理/飲料・2年卒業考査
101～105	欧米の結婚式・歴史と文化②	196～200	基本演出
106～110	ブライダル市場・ブライダル業種・関連業種	201～210	コンセプトシートに基づいたアイテムの選定①
111～115	エリア特性と集客システム	211～220	コンセプトシートに基づいたアイテムの選定②
116～120	見合い・婚約・結納・婚約式	221～225	進行表①
121～125	挙式（キリスト・神前・人前・仏前・シビル）	226～230	進行表②
126～130	コーディネーター業務・2年前期期末考査	231～235	進行表③
131～135	新規業務	236～240	手配業務①
136～140	セールスの特徴・ホスピタリティー営業	241～245	手配業務②
141～145	プランニング概論	246～255	当日業務
146～155	プランニング	256～270	検定対策①
156～160	新規アフターフォロー・成約業務	271～284	検定対策②
161～165	ペーパーワーク	285～300	検定対策③
備考	学生プロデュース（メルベイユ・ウェディング）実施により，内容変更あり。		

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	ブライダルコーディネートコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS022	SNS	講義・演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	後期	45分	30	1

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
富田　貴子	兼任	ICTコンサル業務，ソフトウェアおよびシステム・アプリの開発，販売，管理，インターネットホームページ作成等に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

ネットでの配信におけるマーケティングの考え方や，SNSの基本概要・ネットリテラシー，SNSの投稿で気を付けることなどの基本を学び，Instagramでの配信を実践出来るようにする。

■ 成績評価基準

期末考査　80%　授業態度・提出物等　20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
なし		

■ 特記事項

ブライダルコーディネートコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2	オンラインマーケティングについて①	17・18	スマートフォンで撮影してみよう①
3・4	オンラインマーケティングについて②	19・20	スマートフォンで撮影してみよう②
5・6	オンラインマーケティングについて③	21・22	Instagramに投稿する
7・8	オンラインマーケティングについて④	23・24	Instagramに投稿する
9・10	SNSの基本①	25・26	Instagramに投稿する
11・12	SNSの基本②	27・28	投稿後のインサイト分析方法
13・14	Instagramについて①	29・30	総合練習
15・16	Instagramについて②		
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	ブライダルコーディネートコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS023	フォト技術	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年　後期 2年　前期	45分	60	2

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
柿元　剛史	兼任	写真室を経営し，ブライダル等のカメラマンとして業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

「SNS」「コスチューム和装」「コスチューム洋装」の授業に連動し，屋内・野外でモデルを携帯カメラで撮影する場合の，SNS投稿写真の知識や技術を学ぶ。また，一眼レフカメラで撮影した場合の，ブライダルフォトとしての知識・技術を学ぶ。撮影した写真の編集・加工も併せて習得する。

■ 成績評価基準

期末考査（作品）　80%　授業態度・提出物等　20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
なし		

■ 特記事項

ブライダルコーディネートコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2	携帯電話（Android・ios）カメラ機能の使用方法①	31～34	アングルの基本
3～6	携帯電話（Android・ios）カメラ機能の使用方法②	35～38	撮影方法（人物）①
7～10	撮影方法（人物）①	39～42	撮影方法（人物）②
11・12	撮影方法（人物）②	43～46	撮影方法（風景）
13～16	撮影方法（風景）①	47・48	撮影方法（小物）①
17・18	撮影方法（風景）②	49・50	撮影方法（小物）②
19～22	一眼レフカメラの使用方法①	51～54	キャンドルライトでの人物撮影・逆光撮影
23～26	一眼レフカメラの使用方法②	55・56	写真編集・加工技術（Photo shop）
27・28	人物モデルへのポージング（基本）	57～60	撮影目的に合わせた応用撮影・編集
29・30	フィルター効果		
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	ブライダルコーディネートコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS024	コーディネーター実務	演習，講義

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	通年	45分	165	6

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
大石　仁	兼任	ゲストハウスのマネージャーを経て，ブライダルコンサルタント会社を経営し，県内外の式場コンサルタント業務に従事

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

ウェディングコーディネーターとして必要な，現場での知識を身に付ける。接客マナーや電話対応など基本的なことから，お客様心理など営業の知識を学習し，「施行」課程においては単価アップ・売上確保などのほかに，経営の仕組みや利益・原価率・経常利益など，会社員として必要な会社の仕組み，お金の仕組みを学習する。就職後，そのまま使用できる現場レベルでのスキルを学習する。

■ 成績評価基準

受講態度，誘致知識・施行知識の実践力をロールプレイングを見ながら評価。

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社
なし		

■ 特記事項

ブライダルコーディネートコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1～6	自己分析・8分間スピーチ	73～78	打合せロールプレイング実践（トータルコーディネート）
7～12	アイスブレークロールプレイング	79～84	売上・原価・利益 概要
13～18	ブライダル業界概要（世界・全国・鹿児島）	85～90	会社設立（架空会社作成、損益計算）
19～24	オリエンテーション概要	91～96	見積り・原価表作成①
25～30	オリエンテーションスケジュール作成実践	97～102	見積り・原価表作成②
31～36	オリエンテーションプレゼン実践	103～108	見積り・原価表作成③ 卒業考査
37～42	打合せロールプレイング実践（売上・単価UP）	109～114	卒業発表準備①
43～48	打合せロールプレイング実践（料理・ドリンク）	115～120	卒業発表準備②
49～54	打合せロールプレイング実践（料理メニュー）	121～126	卒業発表準備③＆進捗確認
55～60	打合せロールプレイング実践（人数UP）	127～148	卒業発表準備④＆初期リハーサル
61～66	打合せロールプレイング実践（花・コーディネート）	149～154	卒業発表準備⑤＆進捗確認
67～72	打合せロールプレイング実践（進行表作成・司会） 前期期末考査	155～165	卒業発表準備⑥＆最終リハーサル
備考			

■ 対象入学年度	■学科名	■コース名
2023年度	ビューティ・ウェディング科	ブライダルコーディネートコース

■ 科目コード	■ 科目名	■ 授業形態
C23JS025	ウェディング応用	演習

■ 科目区分	必修／選択	■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	後期	45分	105	4

■ 代表教員名	■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴
黒鳥　美津代	兼任	ブライダルコスチューム店にてブライダルスタイリストとして従事後，ヘアメイク・エステティックサロン開業。結婚式や前撮りにおける新郎新婦のお支度，成人式の和装着付け等にも携わる。

■ その他教員

■ 授業概要及び到達目標

1年次に学んだ「メイクⅠ」「ヘアアレンジ」「コスチューム（和装）」「コスチューム（洋装）」の基礎および応用技術をさらに発展させて，ブライダルの現場で実践している応用技術や，イレギュラー対応を習得する。

■ 成績評価基準

期末考査　80%　授業態度・提出物等　20%

＜基準＞　100～90点 ： 秀
89～80点 ： 優
79～70点 ： 良
69～60点 ： 可
59点以下 ： 不可

■ テキスト・参考書

著者名	書籍名	出版社

■ 特記事項

ブライダルコーディネートコース

■ 授業計画

回	授　業　内　容	回	授　業　内　容
1・2	ブライダルメイク①	31・32	留袖着付け③
3・4	ブライダルメイク②	33・34	留袖着付け④
5・6	ブライダルメイク③	35・36	振袖着付け①
7・8	ブライダルメイク④	37・38	振袖着付け②
9・10	ブライダルヘアアレンジ①	39・40	振袖着付け③
11・12	ブライダルヘアアレンジ②	41・42	振袖着付け④
13・14	ブライダルヘアアレンジ③	43～50	花嫁着付け①
15・16	ブライダルヘアアレンジ④ 前期期末考査	51～60	花嫁着付け②
17・18	トータルヘアメイク①	60～65	花嫁着付け③ 卒業考査
19・20	トータルヘアメイク②	66～75	トータルヘアメイク・着付け応用①
21・22	トータルヘアメイク③	76～85	トータルヘアメイク・着付け応用②
23・24	トータルヘアメイク④	86～95	トータルヘアメイク・着付け応用③
25・26	ブライダル和装について	96～105	トータルヘアメイク・着付け応用④
27・28	留袖着付け①		
29・30	留袖着付け②		
備考			